

# III 警 防 編



## 1 消防力の現況（令和元年12月末日）

### （1）消防職員の現況

区 分	消 防 本 部	中 央 署	西 署	合 計
警 防 要 員		105	39	144
救 急 要 員		33	12	45
警 防 ・ 救 急 要 員			75	75
予 防 要 員	10	4	2	16
そ の 他 の 要 員	37	1	2	40
合 計	47	143	130	320

### （2）消防団員の現況

区 分	警 防 要 員	本 部 要 員	合 計
鉏 路 市 消 防 団	432	6	438

### （3）消防水利（地域別消防水利施設現勢表）

地区	水利	公 設			
	消 火 栓	防 火 水 槽 (40m <sup>3</sup> 級)	耐 震 性 貯 水 槽 (100m <sup>3</sup> 級)	指 定 水 利	計
大 楽 毛	200	11			211
鉄 西	255	33			288
白 糠	125	42			167
阿 寒	87	13			100
阿 寒 湖 温 泉	24	7		1	32
音 別	22	26			48
愛 国	152	31			183
鉄 北	227	35			262
橋 北	120	44	1	1	166
橋 南	317	84	1	3	405
春 採	149	31			180
白 樺	37	2			39
合 計	1,715	359	2	5	2,081



(2) 出動計画

市街地の防火対象物建ぺい率、構造、消防水利等を分析し、釧路市消防警防規程及び釧路市消防警防規程運用要綱で定めている。

ア 火災出動計画

出動区分	出動台数	出動基準
第1出動	6台～7台	火災を覚知した時
第2出動	10台～12台	現場最高指揮者が消防隊の増強を認めた時
第3出動	18台～19台	現場最高指揮者が、火災の規模により第2出動では対応し難いと判断し、消防隊の増強を認めた時
特命出動	必要台数	災害状況に応じて現場最高指揮者が要請

イ 救助救急出動計画

覚知時 3台～5台(救急車含む)  
特命出動 必要数

ウ 警戒出動計画

覚知時 1台～2台

エ 非常災害時出動計画

地震・津波・風水害等の自然災害発生時、通常の消防体制では対応できない場合の計画を定め、消防部隊の増強を図る。

オ 石油コンビナート等特別防災区域内出動計画

当市の西港区域石油貯蔵施設は石油コンビナート等災害防止法により特別防災区域として指定されており、北海道石油コンビナート等防災計画に基づき、高所放水車及び化学車等を基本に消防部隊の増強を図る。

(3) 消防救助活動に対する民間協力体制

消防が有する装備と資機材では対応し難い災害への対策として、特殊資機材、重機等を有する民間企業が消防救助活動に協力する『釧路市救助協力会』を結成している。

ア 設立 昭和56年4月22日

イ 組織 5部会 30事業所

(4) 林野火災及び大規模災害に対処する防災体制

釧路市愛国191の1に『空中消火等補給基地』(ヘリコプター離着陸広場 8,000 m<sup>2</sup>、40m<sup>3</sup>級貯水槽1基、資機材保管施設1棟、消火薬剤散布装置3基)を設置し、林野火災の消火及び大規模災害時の救助救急等に備えている。

### 3 火災・警戒出動概要

令和元年中の出動状況は86件の火災が発生し、車両延べ665台、職団員延べ2,485名が出動し消防活動を行った。その概要は次表のとおりである。

#### (1) 火災出動状況

月	区分	火災件数	出動台数(台)			出動人員(名)		
			消防署	消防団	計	消防署	消防団	計
1月		5	33	6	39	112	13	125
2月		1	9	0	9	33	0	33
3月		6	53	7	60	188	40	228
4月		25(5)	165(32)	35(12)	200(44)	572(97)	130(26)	702(123)
5月		8(1)	42(8)	8(3)	50(11)	149(25)	50(15)	199(40)
6月		4(1)	28(13)	9(6)	37(19)	95(45)	32(19)	127(64)
7月		3	21	3	24	76	12	88
8月		6(1)	43(2)	10	53(2)	151(7)	62	213(7)
9月		4	21	5	26	78	19	97
10月		8	34	2	36	118	0	118
11月		6	35	7	42	120	54	174
12月		10(1)	70(7)	19(5)	89(12)	253(22)	128(51)	381(73)
合計		86(9)	554(62)	111(26)	665(88)	1,945(196)	540(111)	2,485(307)

※( )は、白糠町の内数

#### (2) 過去5年間の火災出動状況の推移

区分	火災件数	出動台数(台)			出動人員(名)		
		消防署	消防団	計	消防署	消防団	計
平成27年	64(5)	340	70	410	1,225	644	1,869
平成28年	63(12)	360	91	451	1,254	719	1,973
平成29年	65(7)	335	70	405	1,194	615	1,809
平成30年	50(6)	299	63	362	1,091	447	1,538
令和元年	86(9)	554	111	665	1,945	540	2,485

※( )は、白糠町の内数

(3) 過去5年間の警戒出動状況及び推移

区分	年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年	
出動件数	1,415	(123)	1,234	(124)	1,123	(106)	963	(69)	784	(73)		
集合煙突	4		2		5		2	(1)	4			
焚き火	1		1	(1)	2							
電柱	8	(1)	8		3		1		1			
異常燃焼	7		3		7		3		1			
油関係	123	(5)	140	(2)	112	(4)	103	(1)	101	(3)		
ガス関係	3		8		3		12	(2)	5	(1)		
自火報	63		90	(2)	50	(1)	56	(1)	66	(2)		
漏電警報器	0		1		1		1					
非常警報	5		4		4	(1)	4		7			
緊急ボタン	25	(3)	13	(1)	7		11	(1)	10	(3)		
危険排除	720	(47)	398	(55)	371	(30)	54	(3)	48	(1)		
その他	456	(67)	566	(63)	558	(70)	716	(60)	541	(63)		
出動台数	2,623	(262)	2,546	(219)	2,362	(209)	2,256	(142)	1,783	(152)		
出動人員	10,491	(942)	9,804	(781)	9,059	(802)	8,464	(524)	6,605	(550)		

※ ( ) は、白糠町の内数

#### 4 救助出動概要

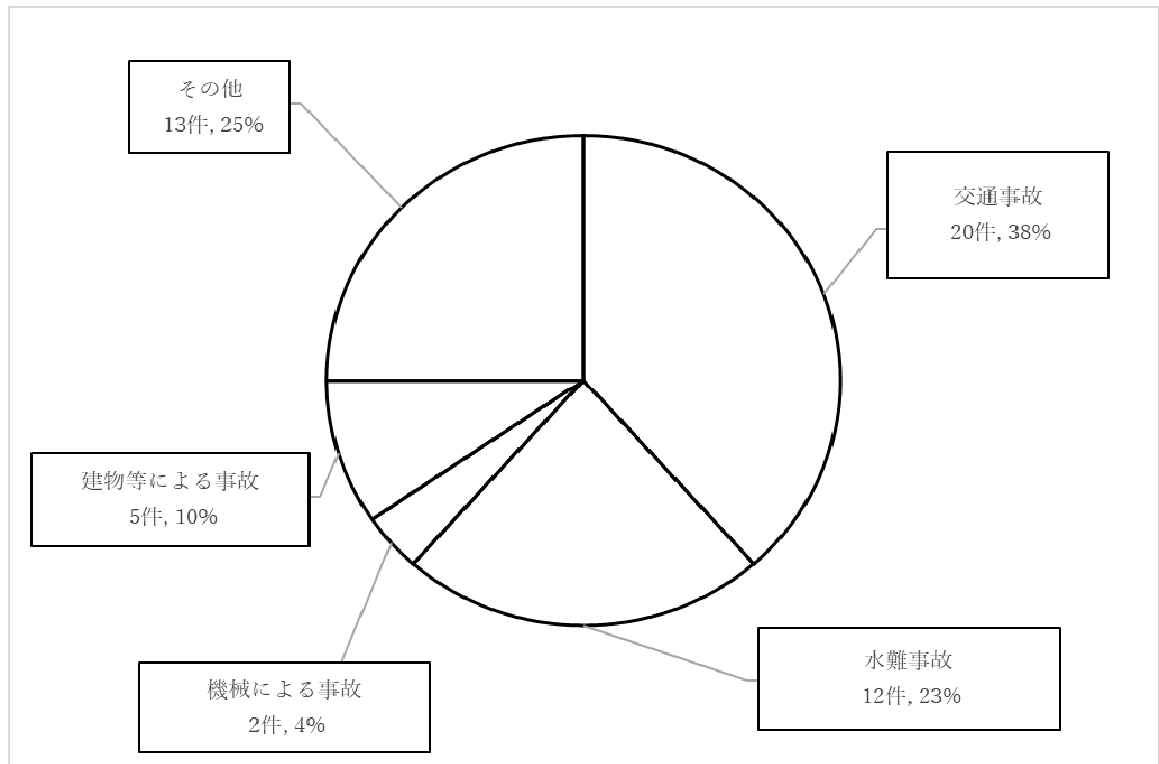
令和元年中の救助出動は52件発生し、車両延べ287台、人員延べ1,052名が出動し救助活動を行った。その概要は次表のとおりである。

##### (1) 前年比救助出動状況

区分	年	平成30年		令和元年	
		出動件数	救助人員	出動件数	救助人員
出 動 件 数		49 (2)	66 (2)	52 (5)	78 (7)
交 通 事 故		29 (2)	50 (2)	20 (2)	47 (4)
水 難 事 故		13	8	12 (1)	8 (1)
自 然 災 害					
機 械 に よ る 事 故				2	3
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故					
建 物 等 に よ る 事 故		2	2	5 (1)	7 (1)
爆 発 事 故					
そ の 他		5	6	13 (1)	13 (1)
出 動 台 数		281	(7)	287	(18)
出 動 人 員		1,097	(32)	1,052	(75)

※ ( ) は、白糠町の内数

##### (2) 事故種別救助出動状況





(3) 月別救助出動状況

区分	月												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出 動 件 数	12	4	3	6	1	3	4	5	1	3	4	6	52
交 通 事 故	4	1	2	2		1	3	3	1	1	1	1	20
水 難 事 故	2	1		2		2	1	1		2		1	12
自 然 災 害													
機 械 に よ る 事 故			1								1		2
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故													
建 物 等 に よ る 事 故	2			1								2	5
爆 発 事 故													
そ の 他	4	2		1	1			1			2	2	13
出 動 台 数	75	18	21	40	8	19	25	25	7	17	17	15	287
出 動 人 員	264	62	73	164	27	65	83	82	25	58	65	84	1,052
救 出 人 員	18	5	9	9	1	4	4	14	2	2	5	5	78

(4) 署々別救助出動状況

区分	署		合 計	
	中 央 消 防 署	西 消 防 署		
出 動 件 数	36	16	(5)	52
交 通 事 故	10	10	(2)	20
水 難 事 故	10	2	(1)	12
自 然 災 害				
機 械 に よ る 事 故	1	1		2
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故				
建 物 等 に よ る 事 故	3	2	(1)	5
爆 発 事 故				
そ の 他	12	1	(1)	13
出 動 台 数	198	89	(18)	287
出 動 人 員	713	339	(75)	1,052
救 出 人 員	43	35	(7)	78

※ ( ) は、白糠町の内数

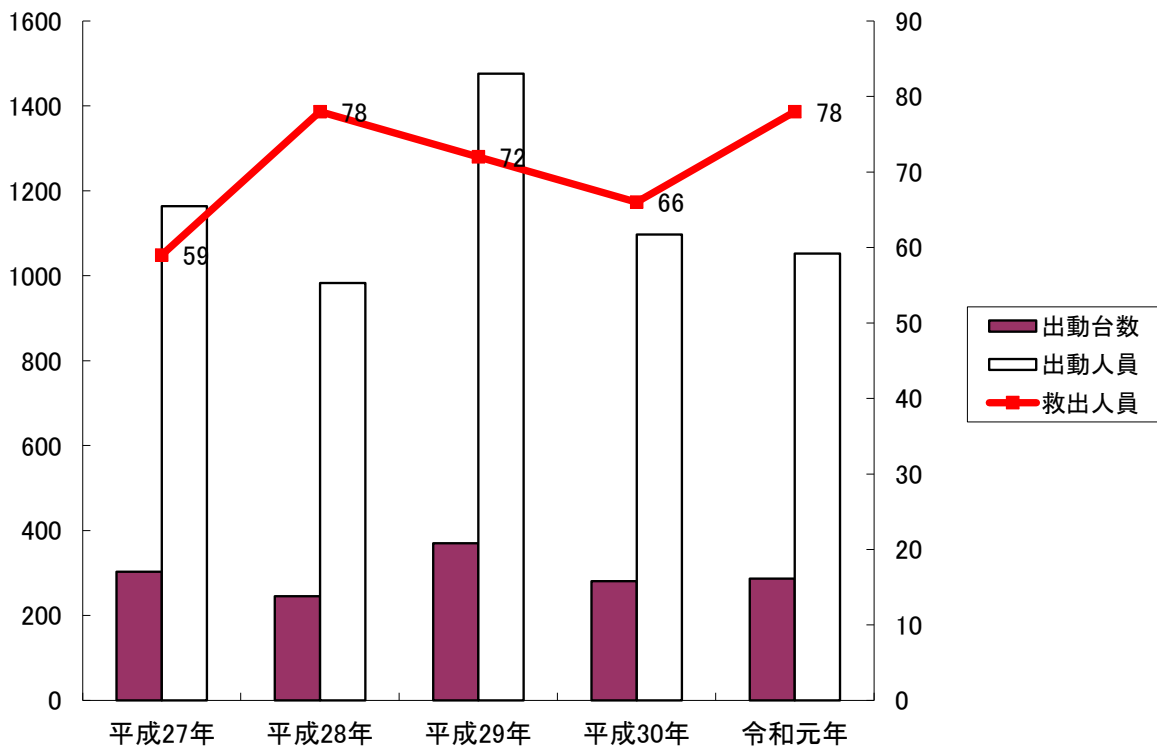
(5) 過去5年間の救助出動状況の推移

区分	年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年	
出 動 件 数	61	(5)	47	(2)	67	(5)	49	(2)	52	(5)		
交通 事 故	27	(3)	26	(1)	36	(2)	29	(2)	20	(2)		
水 難 事 故	18	(1)	7		16	(1)	13		12	(1)		
自 然 災 害												
機 械 に よ る 事 故	2		1	(1)	2				2			
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故	2											
建 物 等 に よ る 事 故			1				2		5	(1)		
爆 発 事 故												
そ の 他	12	(1)	12		13	(2)	5		13	(1)		
出 動 台 数	303	(22)	245	(9)	370	(35)	281	(7)	287	(18)		
出 動 人 員	1,164	(80)	983	(34)	1,476	(164)	1,097	(32)	1,052	(75)		
救 出 人 員	59	(7)	78	(4)	72	(11)	66	(2)	78	(7)		

※ ( ) は、白糠町の内数

出動台数  
出動人員

救出人員



## 5 消防通信

消防通信は、有線通信及び無線通信に大別され、それぞれの法令（有線電気通信法・電波法）に基づき運用されている。

### (1) 有線通信施設

区分	種別	施設数	適用	
有線電話	消防救急指令台	1 1 9 回線	4 回線 緊急呼用ISDN回線 同時8CH (一般・携帯・IP全て重畳)	
		指令施設用回線	1 式 音声指令15回線 指令電送15+1(大規模)回線	
		指令台用局線	2 回線 ISDN回線、同時4CH	
		順次指令用局線	2 回線 ISDN回線、同時4CH	
		I T 情報端末装置	1 回線 FTTH	
	一般	加入電話	27(2) 回線	本部・署・分署・支署・分団(13箇所) (ISDN回線・電話・FAX)
		F A X 専用回線	1 回線	光電話2CH(指令台収容)
		災害情報自動案内	1 契約	災害等案内(NTT側設備で100回線)
		内線電話	252 回線	本部・署・分署・支署
		北海道総合行政情報ネットワーク専用電話	1 回線	本部総務課

※ 市イントラ用光ファイバーを活用し、多重装置で実現(指令回線・指令電送・内線回線・デジタル無線・消防情報支援システム・大規模災害装置)

※ 白糠支署はビジネスイーサワイドを活用(指令回線・指令電送・内線回線・消防情報支援システム)

※ 白糠町役場のデジタル無線基地局はビジネスイーサワイドで接続

※ ( ) 内は白糠支署内数

### (2) 無線通信施設

区分・種別		施設数	適用	
無線設備	基地局	デジタル 5(1) 局	20W(中央消防署東分署・阿寒支署・阿寒湖温泉支署・音別支署・白糠町役場) →移動局、受令機の災害指令	
	簡易基地局	デジタル 1 局	10W(仁々志別小学校)→陸上移動局の通信	
	固定局	デジタル 3 局	東分署基地局用アプローチ回線	
	陸上移動局	卓上型	デジタル 25(2) 局	5W→署・支署11局、分団10局、本部4局
		可搬型	デジタル 2 局	
		車載	デジタル 96(15) 局	
		携帯	デジタル 117(18) 局	
受令機	署所端末用	14(1) 台	本部・各署・各支署 分団	
	携帯型	19 台		
その他	携帯電話	28(3) 台	警防課2台、通信指令課2台、中央署5台、東分署2台、愛国支署2台、桜ヶ岡支署1台、西署2台、大楽毛支署1台、阿寒支署2台、阿寒湖温泉支署3台、音別支署2台、白糠支署3台、市立病院1台	
	衛星携帯電話	2 台	本部1台、警防課1台	
	車両運用端末装置(AVM)	40(3) 台	消防隊16台、救急隊9台、分団15台	
	動画伝送装置	1 台	指揮隊	

※ ( ) 内の数字は白糠支署内数

(3) 無線チャンネル系統

		司令本部	中央消防署			西消防署			
			中央方面隊	東方面隊	西方面隊	阿寒方面隊	阿寒湖方面隊	音別方面隊	白糠方面隊
緊急災害	一般	消防用活動波	活動波 1・活動波 3 (指揮命令及び現場活動)			活動波 2 (指揮命令及び現場活動)			
		救急用活動波	活動波 4 (指揮命令及び現場活動)						
		情報用活動波	活動波 5 (現場災害と指令室間の情報連絡用)						
		指令用活動波	活動波 6 *指令放送有線回線切断時、すべての音声合成指令を署所端末装置向け送出						
通規模非常災害	大規模非常災害	消防用活動波	活動波 1 活動波 2 活動波 3	活動波 1	活動波 3	活動波 2			
		救急用活動波	活動波 6 (司令本部からの救急指令及び現場活動)			活動波 4 (司令本部からの救急指令及び現場活動)			
		情報用活動波	活動波 5 (司令本部と中央消防署、西消防署、東分署間の通信)						

(備考) ※注 1 旧西部地区の無線輻輳時、中央方面隊、東方面隊の無線交信に影響がない範囲で、西方面本部長の指示により移動局間直接通信を運用できるものとする。

共通波	主運用波 4 (北海道波)	統制波 1
		統制波 2
		統制波 3

(4) 災害通報等受付件数

項目	火災	警戒	救助	救急	その他	合計
119番受付	85 (8)	608 (64)	28 (3)	9,343 (422)	5,840 (231)	15,904 (728)
119FAX	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)
加入電話受付	11 (2)	77 (4)	4 (0)	69 (7)	4 (0)	165 (13)
警察電話受付	5 (0)	54 (2)	15 (2)	73 (3)	32 (2)	179 (9)
無線受付	0 (0)	2 (0)	1 (0)	10 (1)	1 (0)	14 (1)
駆け付け通報	0 (0)	8 (1)	0 (0)	22 (7)	4 (0)	34 (8)
その他	2 (0)	34 (1)	0 (0)	108 (2)	535 (22)	679 (25)
合計	103 (10)	783 (72)	48 (5)	9,626 (442)	注 6,417 (255)	16,977 (784)

※ 各項目下段 ( ) 内の数値は、白糠町の件数で上段の内数

注 合計欄その他の内訳

項目	問合せ	訓練	試験	誤報	いたずら	携帯転送	その他	合計
件数	689	1,765	1,612	754	59	96	1,442	6,417

※ 災害通報等受付件数は、実災害件数とは異なります。(消防隊と救急隊が同時出動する火災、救助及び警戒出動は救急隊が出動していても救急受付件数には含まず、それぞれの災害項目に計上されます。)

## 6 研修及び訓練実施状況（令和元年実績）

### （1）研修

種別	項目		対象及び内容	期間・回数	人員・時間	
本 部 研 修	資格取得		大型自動車運転免許取得	11回	11人	
			無線従事者免許取得	1回	3人	
			潜水士資格取得	1回	2人	
	派遣	病院実習		救急救命士資格者	138回	51人
		消防学校		初任教育前期	98日間	6人
				初任教育後期	98日間	3人
				専科教育救急科	46日間	5人
				専科教育救助科	31日間	1人
				専科教育危険物科	8日間	1人
				幹部教育幹部科	11日間	1人
				特別教育はしご自動車運用課程	5日間	1人
				特別教育大規模災害 広域応援指揮課程	11日間	1人
				道MC関係教育ビデオ硬性喉頭鏡講習	1日間	4人
				道MC関係教育処置拡大2行為講習	4日間	7人
		第26期救急救命士養成課程	123日間	1人		
		消防大学校		専科教育救急科	32日間	1人
	実務講習緊急消防援助隊教育科 高度救助・特別高度救助コース			12日間	1人	
	市職員研修		釧路市職員研修計画による	19日間	60人	
	新規採用職員研修		令和元年度採用職員	12日間	10人	
	専科研修		指導者育成研修	7日間	6人	
水難救助特別教育			1回	3人		
救急副隊長研修			5日間	4人		
予防課程			64回	219人		
特別研修		消防職員意見発表会	1回	10件		
		消防職団員研究発表会	1回	10件		
所 属 研 修	係 別 研 修	消防隊研修	中央消防署	368回	497時間	
			西消防署	653回	866時間	
	救助隊研修	中央消防署	393回	515時間		
		西消防署	185回	200時間		
	救急隊研修	救急資格者研修	939回	2,111時間		

## (2) 訓練

種別	項目	対象及び内容	期間・回数	人員・時間	
本部訓練	演習	春季消防演習	観閲	1回 27台/350人	
		秋季消防演習	慰霊祭・団競技大会	1回 27台/350人	
	各種訓練	救助隊員養成訓練	指定された隊員	10日間	8人
		消防活動技能訓練	指定された隊員	12日間	10人
		救助技術訓練指導会訓練	指定された隊員	5月～7月	6人
		警防技術訓練	指定された隊員	9日間	83人
	所属訓練	係別専科	消防隊訓練	中央消防署	1,241回 1,561時間
西消防署				2,170回 2,526時間	
救助隊訓練		中央消防署	1,488回 2,358時間		
		西消防署	690回 825時間		
救急隊訓練		救急資格者訓練	1,068回 1,275時間		

## (3) 消防団

種別	項目	対象及び内容	期間・回数	人員・時間
研修訓練	研修	資格取得	自動車運転免許(中型)取得	1回 4人
		特別研修	女性消防団員研修	1回 25人
			機関教養	7回 48人
			予防教養	17回 624人
		視察研修	消防団員技能競技大会視察	1回 20人
		釧路市	消防団員基礎教育	1回 20人
	北海道消防学校入校	特別教育女性団員課程	1回 1人	
	競技大会	釧路市消防団員	ポンプ自動車・小型ポンプ	7箇所分団 38人
		(公財)北海道消防協会 釧路地方支部消防団員 技能競技大会	釧路市(9月12日) ポンプ自動車・小型ポンプ	7箇所分団 38人
	訓練	規律訓練	訓練礼式	54回 371人
		防ぎょ訓練	競技訓練	110回 879人
			署・団合同訓練	15回 153人